

0. トラブルを発見する

子どもの困り感に気づき、
早め早めに対応しよう

Berore
一人ぼっちが続き、
不登校に…

After
子どもの様子
を見取り、適切
に介入

① 触診(学級担任による観察)

担任・専科による日常生活の観察シート

- 一人でいることが多い(移動教室、休み時間、ペア活動)
- 仲間外れにされている
- デスタの点数が著しく下がっている
- 避けられていると感じることをされている(机を離す、運ばない)
- 圏等の言葉を言われている
- 表情が暗い
- 身だしなみに変化がある
- 保健室にいることが増えた
- 遅刻・早退・欠席が増えた
- 物が盗まれる・壊される

② 問診(アンケート)

問診シート

③ 検査(調査 一人ぼっちの子調査)

子どもと教師の
2人で話す
時間をつくる

子どもの様子
を見取り、適切
に介入

いじめ発見・対応システム

向山洋一 いじめ発見・対応システム

発見 1. 触診(学級担任による観察)
2. 問診(アンケート)
3. 検査(調査 例 一人ぼっちの子調査)

対処 1. いじめの訴えに、即対応する
2. 校長を含めた会議24時間内に開催する
3. 担任の訪問を行う

追跡 1. 解決を校長が確認する
2. 校長のフォロー

トラブル発生

1. 調整する

① 聞き取り担当者を決める

② 役割を分担して、流れを確認する

③ 時間調整する

2. 順番に聞き取る

① 通報者

② 被害者

③ 加害者

④ 目撃者

※対象の子が複数いる場合、「複数個所で同時進行で行う」「一か所ですべての子どもを聞き取る」。

3. 聞き取る

① 個別に一人ずつ聞く

② 守秘できないときは守秘できないと伝える

③ オープン質問を用いる

評価より受容——子どもの声をまっすぐ聴く

Berore
子どもの話を
評価する

After
子どもの話を
受け止める

それは、違うよ!

そうなんだ。そう思ったんだね。

④ 教師のもつ仮説を検証する

⑤ 何を聞き取るか準備して行う

⑥ 決めつけを避け、自動再生質問で粘り強く聞く

⑦ 虐待や犯罪等の恐れがあるときは他機関に委ねる

(1) 誘いかけ質問「何があったか、どんなことでも全部話してね」「最初から最後まで話してね」
(2) 時間分割質問「それからどうしたの?」「その後は、どうなったの?」
(3) 手がかり質問「さっきの話をもっと、詳しく話して」
(4) それから質問「それから?」「その後は?」

丁寧な対応が子どもの人間関係力を育てる

Berore
急ぎすぎた対応

After
丁寧な対応

聴き取り方の生徒指導

〈GOOD指導〉(太字は、オープン質問や自動再生質問)

先生 「友だちが心配していたけど何かあったの? **どんなことでもいいから全部話してね**」

Aくん 「実は、最近Bくんから殴られることがあって……」

先生 「それは、**どんなことを言われたの?**」

Aくん 「キモイとか死ねとか言われます」

先生 「キモイとか死ねと言われたんだね。それは、いつ言われたのかな?」

Aくん 「火曜日の休み時間」

先生 「その休み時間のこと、**どんなことがあったのかももっと詳しく教えて**」

Aくん 「休み時間で廊下を通りすぎりに、いきなり『キモイ』と言われました」

先生 「それから、**Aくんは**どうしたの?」

Aくん 「『キモイ』と言った後、僕が無視をしていたら、『無視してんじゃねえ、死ね』と言われました」

先生 「キモイって言われたんだ」

聞き取りシート

学年 組	対象者の状況		被害者側		加害者側	
ふりがな			その他()			
対象者氏名	聞き取り者					
聞き取り日時	記録者					
いつ	どこで	誰から/誰が	何をされたか/何をしたか	その時の気持ち	どうしてほしい?/どうしたい?	

<聞き取り後に記入>

方針(どの教員が誰といつ話すのか?)	その結果	保護者への連絡(保護者の思い)

4. 指導・校内・保護者に情報共有・連絡

子どもの気持ちや背景を理解する

謝らせることではなく、子どもの気持ちや背景を理解すること。「なぜそうしたの?」「今どんな気持ち?」と問いかけ、心の中にある思いを丁寧に引き出す。また、「お互い様」とまとめてしまうと、一方的に傷ついた子が取り残されてしまうこともあるので。力関係や背景の違いにも目を向けることが大切。

【参考文献】
片山紀子編著『生徒指導の聞き取り方——場面設定から質問技法まで(学事出版)』
向山洋一『学級づくり よくある失敗113例—先生好きにする改善のヒント』(学芸みらい社)等